

# HP Client Automation Starter and Standard

Windows® オペレーティング システム用

ソフトウェア バージョン : 7.20

## 移行ガイド

---

ドキュメントのリリース日 : 2008 年 7 月

ソフトウェアのリリース日 : 2008 年 7 月



## ご注意

### 保証

HP の製品およびサービスで保証されるのは、製品およびサービスに添付される明確な保証文で説明されているものだけです。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

### 権利の制限

コンピュータ ソフトウェアの機密保持。所有、使用、または複製を行う場合には、HP からの正規のライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に従い、商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメンテーション、および市販品の技術データは、各販売業者の標準営業許可のもとに米国政府にライセンスされています。

### 著作権

© Copyright 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows® XP は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

OpenLDAP は、OpenLDAP Foundation の登録商標です。

### 謝辞

PREBOOT EXECUTION ENVIRONMENT (PXE) SERVER  
Copyright © 1996-1999 Intel Corporation.

TFTP SERVER  
Copyright © 1983, 1993  
The Regents of the University of California.

OpenLDAP  
Copyright 1999-2001 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA.  
Portions Copyright © 1992-1996 Regents of the University of Michigan.

OpenSSL License  
Copyright © 1998-2001 The OpenSSLProject.

Original SSLeay License  
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

DHTML Calendar  
Copyright Mihai Bazon, 2002, 2003

## サポート

次の HP Software Web サイトを参照してください。

### **[www.hp.com/go/hpsoftwaresupport](http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport)**

この Web サイトでは、HP Software が提供する製品、サービス、サポートに関するお問い合わせ情報が掲載されています。

HP Software オンライン ソフトウェア サポートでは、お客様自身が問題を解決するのに有益な情報を提供します。ビジネスを管理するのに必要な、対話型技術サポート ツールにアクセスする、素早く効率的な方法を提供しています。サポートを受けるお客様は、サポート サイトを使って以下のことができます。

- 関心がある知識ドキュメントの検索
- サポート事例および機能強化リクエストの提出とサポート状況の追跡
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート連絡先の確認
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- 他のソフトウェア顧客とのディスカッションへの参加
- ソフトウェア トレーニングの検索と登録

サポート エリアのほとんどでは、HP Passport ユーザーとして登録し、サインインする必要があります。

アクセス レベルに関する詳細については、次を参照してください。

### **[http://h20230.www2.hp.com/new\\_access\\_levels.jsp](http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp)**

HP Passport ID に登録するには、次を参照してください。

### **<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>**

# 目次

1 HP Client Automation Starter and Standard のアップグレード .....	5
ステップ 1: 既存の HPCAS インストールのバックアップ .....	5
ステップ 2: 最新バージョンへのアップグレード .....	6
ステップ 3: HPCAS データの復元 .....	7
2 配布されたコンポーネントのアップグレード .....	8

# 1 HP Client Automation Starter and Standard のアップグレード

以下の手順に従って、HP Client Automation Starter and Standard (HPCAS) の最新バージョンにアップグレードしてください。

- ▶ HP Configuration Management Client Configuration Manager のバージョン 7.20 は HP Client Automation Starter and Standard にブランド変更されました。

HPCAS Server のアップグレード プロセスには次の 3 つのステップがあります。

- ステップ 1: 既存の HPCAS インストールのバックアップ
- ステップ 2: 最新バージョンへのアップグレード
- ステップ 3: HPCAS データの復元

- ▶ HPCAS Server の移行時に管理者パスワードは *secret* にリセットされます。移行プロセスの完了後、必ずこのパスワードを変更してください。

## ステップ 1: 既存の HPCAS インストールのバックアップ

HPCAS の既存のインストールをバックアップして、アップグレードの準備をします。

既存のインストールをバックアップするには

- 1 HPCAS メディアから、**migrate** フォルダを一時的な場所にコピーします。  
(このフォルダは必ずコピーしてください。コピーしなければ、移行スクリプトを HPCAS メディアから直接実行することができません)
- 2 コピーした新しい **migrate** フォルダから、**ccmbackup.cmd** を実行します。このとき、バックアップ ファイルを保存するドライブ文字をコマンドの後ろに入力します。たとえば **C:** にファイルを保存する場合は、次のように入力します。

### **ccmbackup C**

十分な領域がある場合は、アップグレード プロセスがバックアップ ファイルを **C:\CCM\Backup** に保存し始めます。

プロセスが完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
All components have been successfully backed up to C:/CCM/Backup
```

Backup フォルダには次の HPCAS データが含まれます。

- Patch Manager の取得設定および ODBC 情報の設定。
- ベースラインからの CS Database 変更。
- ポータル Openldap データベース。
- ポータル ジョブ データベース。
- KB Manager インポート履歴および SMM バックアップ用の現在 (ある場合) の Proxy Server アップロード フォルダ
- インポートまたはエクスポートされたサービスのパブリッシュされた OS Images ChangeControl フォルダ用の OS Manager アップロード フォルダ

▶ バックアップ スクリプトをもう一度実行すると、次の新しいバックアップ フォルダが作成されます。

C:\CCM\Backup-*timestamp* (*timestamp* はバックアップ フォルダの作成日時です)

## ステップ 2: 最新バージョンへのアップグレード

最新の MSI インストーラ (`hpccm.exe`) を実行して HPCAS をアップグレードします。

▶ アップグレード プロセスでは、HPCAS SQL データベース (CCMDB) がアップグレードされます。既存のデータベースを削除して新しいバージョンをアタッチする必要はありません。

最新バージョンにアップグレードするには

- 1 HPCAS の既存のインストール バージョンを削除します。HPCAS は Windows コントロール パネルの [プログラムの追加と削除] アプレットまたは以前のインストーラ (MSI または `exe`) を使用して削除できます。
- 2 最新の HPCAS メディアから `hpccm.exe` を実行します。画面または『HP Client Automation Starter and Standard 管理者ガイド』のインストール手順に従います。

▶ 以前のバージョンの HPCAS を先に削除しなかった場合、インストールはアップグレード プロセスを開始します。このプロセスを続行しないでください。前に戻り、以前のバージョンを削除してからインストーラを再実行します。

⚠ アップグレードを実行する前に前提手順 (前掲の「ステップ 1: 既存の HPCAS インストールのバックアップ」を参照) を完了しないと、HPCAS データが失われます。

HPCAS の新しいバージョンがインストールされました。

## ステップ 3: HPCAS データの復元

HPCAS を最新バージョンにアップグレードしたら、既存のデータを新しいフレームワークに復元します。

HPCAS データを復元するには

- 新しい HPCAS メディアの **migrate** フォルダから、**ccmrestore.cmd** を実行します。このとき、前述のステップ 1 でバックアップ ファイルを保存したドライブ文字をコマンドの後ろに入力します。たとえば C: からファイルを復元する場合は、次のように入力します。

**ccmrestore C**

Backup フォルダに保存されているデータが新しい HPCAS フレームワークに移行されます。

- ▶ データを復元したら、コンソールにログインしてダイナミック リフレッシュ グループ ジョブを開始してください。これにより、スケジュールされたジョブの実行前に正しいデバイスがグループに追加されます。

HPCAS Server がアップグレードされると、配布されているコンポーネントをすべてアップグレードする必要があります。詳細は第 2 章を参照してください。

## 2 配布されたコンポーネントのアップグレード

以下の手順に従って、環境内のデバイスに配布された HPCAS コンポーネントをアップグレードしてください。これには次を含みます。

- 管理エージェント
- Administrator Publisher
- インフラストラクチャ サーバー

▶ 配布されたコンポーネントをアップグレードするには、第 1 章で説明したように HPCAS Server を先にアップグレードする必要があります。

▶ HPCAS の最新バージョンにアップグレードした後、Settings Migration Manager で作成されたユーザー設定の新規バックアップを実行する必要があります。以前のバージョンの HPCAS を使用して作成されたバックアップは、復元できません。Settings Migration Manager を使用したユーザー設定のバックアップの作成および復元についての詳細は、HPCAS ガイドを参照してください。

### 管理エージェントをアップグレードするには

- 1 エージェント配布ウィザードを使用して最新の管理エージェントをすべての管理対象デバイスに配布します。新しい管理エージェント インストールによって、既存のエージェントが最新バージョンにアップグレードされます。
- 2 [レポート] タブで管理エージェントがアップグレードされたことを確認します。バージョン 7.20 HPCAS Server ではバージョン 7.20.x 管理エージェントが配布されます (バージョン 2.11 ではバージョン 5.11.x 管理エージェント、2.10 ではバージョン 5.10.x エージェント、2.00 ではバージョン V420.x エージェントがそれぞれ配布されました)。フィルタは、[検索オプション]、[データ フィルタ]、[インベントリ管理の関連情報] → [オペレーションの関連情報] → [HPCA エージェントのバージョン] で使用できます。

▶ バージョン 2.00 から 2.11 以降へのアップグレードプロセス中に、アップデートした管理エージェント インストールによって 2.00 Publisher が削除されます (インストールされている場合)。コンソールを使用して Publisher を配布した場合は、ソフトウェア削除ウィザードを使用して既存の Publisher メタ データを削除する必要があります。

HPCAS コンソールを使用せずに管理エージェントをアップグレードして最新バージョンを配布した場合は、アップグレードした管理エージェントのセルフ メンテナンスを有効にして最新の rma.tkd を受け取る必要があります。

### アップグレードしたエージェントのセルフ メンテナンスを有効にするには

- 1 HPCAS メディアの \RadAgent\rma ディレクトリから最新の rma.tkd を次の HPCAS インストール ディレクトリにコピーします。  
C:\Novadigm\ManagementPortal\media\extended\_infrastructure\management\_agent\rma

▶ このディレクトリは作成する必要があります。



- 2 次のコマンドを実行して、**rma.tkd** のビルド番号を取得します。  
C:\Novadigm\ManagementPortal\nvdkit version rma.tkd
- 3 **selfmaintenance** というテキスト ファイルを作成し、次のパラメータと値を入力します。  
criticalRMABuildNum     **rma\_build**  
expectedRMABuildNum    **rma\_build**  
proactiveupgrade        0

*rma\_build* はステップ 2 で取得したビルド番号です。

▶ パラメータと値を区切るのにタブ文字は使用しないでください。また、ファイル名には **.txt** などの拡張子を**含めない**でください。

- 4 セルフメンテナンス ファイルを次の **HPCAS** インストール ディレクトリに置きます。  
C:\Novadigm\ManagementPortal\media\extended\_infrastructure\management\_agent

### Administrator Publisher をアップグレードするには

- 1 既存の **Publisher** を削除します。
  - **Publisher** がコンソールから配布された場合は、ソフトウェア削除ウィザードを使用します。
  - **Publisher** を手動でインストールした場合は、[プログラムの追加と削除]を使用します。

▶ バージョン **2.00 Publisher** と管理エージェントが同じデバイスにインストールされている場合は、最新の管理エージェントにアップグレードすると **2.00 Publisher** が自動的に削除されます。**2.00 Publisher** がコンソールから配布された場合は、ソフトウェア削除ウィザードを使用して残りのメタ データを削除する必要があります。このプロセスを実行すると、**Publisher** デバイスにダイアログ ボックスが表示され、このアクションはインストールされているコンポーネントについてのみ有効であるというメッセージが表示されます。これは予期されることなので、ダイアログを閉じてかまいません。

- 2 ソフトウェア配布ウィザードまたは **HPCAS** メディアの **HPCAS-Admin72.msi** を実行して、最新の **Publisher** を配布します。

### インフラストラクチャ サーバーをアップグレードするには

- 1 既存の配布されたインフラストラクチャ サーバー サービスを削除します。[設定] タブの [インフラストラクチャ] セクションで、インフラストラクチャ サービスがインストールされているサーバーをすべて選択します。
- 2 **[インフラストラクチャ サービスの削除]** をクリックします。
- 3 移行するインフラストラクチャ サーバーを選択し、**[インフラストラクチャ サービスの配布]** をクリックします。

新しいサービスがインストールされ、最新リリースで使用できる新しい機能が有効になります。

移行後は、インフラストラクチャ ロケーションを作成してインフラストラクチャ サーバーに割り当て、デバイスを有効にして適切なインフラストラクチャ サーバーに接続します。ロケーションの作成と割り当てについての詳細は、製品マニュアルを参照してください。

▶ このオプションを使用してロケーションを自動作成する前に、最新の管理エージェントを配布する必要があります。最新のエージェントが配布されていないと、サブネット値が検出されないことがあり、ロケーションは作成されません。